

課題① 教科書 P24のア・イの場面を式に表してみよう。

ア ①代金の合計を表す式を書こう。

式 \_\_\_\_\_

②代金の合計はいくらかな。

\_\_\_\_\_

イ ①代金の合計を表す式を書こう。

式 \_\_\_\_\_

②代金の合計はいくらかな。

\_\_\_\_\_

21=8E-09② 09=□+8E① 7 4059② 001+3×05① 7 【7景】

課題② アとイの式のちがいについて、自分や仲間が話しそうなことを想像して書いてみよう。



\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_



めあて

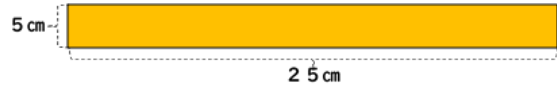
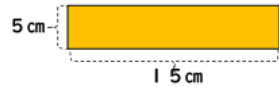
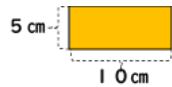
↓うすい文字を ていねいに なぞりましょう。↓

分からない数やいろいろと変わる数がある式を書こう。

課題③ 教科書 P25のIの場面について考えよう。

① 長方形の面積を式で表そう。

切り取った長さが  
10cmのとき



式 \_\_\_\_\_ × \_\_\_\_\_

15cmのとき 式 \_\_\_\_\_

20cmのとき 式 \_\_\_\_\_

25cmのとき 式 \_\_\_\_\_

【復習】長方形の面積  
= ( の長さ) × ( の長さ)



5 × 5	5 × 5	5 × 5
5 × 20	5 × 20	5 × 20
5 × 15	5 × 15	5 × 15
5 × 10	5 × 10	5 × 10

【7景】

② ①の4つ式を書いて、気付いたことは何だろう？

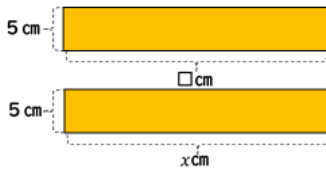


いつも変わらない数は・・・

いろいろと変わる数は・・・



③ ①4つの式を、1つにまとめて表す方法を調べよう。



□cmのとき 式  $5 \times \square$  (cm<sup>2</sup>)

↓ エックス

xcmのとき 式  $5 \times x$  (cm<sup>2</sup>)

これからは、□のかわりに、x(エックス)を使います。

まとめ いろいろと変わる数 (□) のかわりに、xなどの文字を使うと、いくつかの式を1つにまとめて表すことができる。

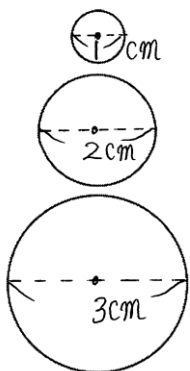
x(エックス)ていねいに書いてみよう

① x ② x

<振り返り>

課題① 教科書 P27 2の場面について考えよう。

円の直径が1cm, 2cm, 3cm...のときの直径と円周の長さの関係を表す式を書こう。



直径の長さが

【復習】 円周の長さ × 円周率 = 円周の長さ  
 $3.14$

1cmのとき 式  $1 \times 3.14 = 3.14$  (cm)

2cmのとき 式  $2 \times 3.14 =$  ( ) (cm)

3cmのとき 式  $\square \times 3.14 =$  ( ) (cm)

課題② 上の3つの式について気付いたことを書いてみよう。

【答え】  
 3cmのとき  $3 \times 3.14 = 9.42$   
 2cmのとき  $2 \times 3.14 = 6.28$



\_\_\_\_\_

前は変わる数は1つだったけれど、今回は...

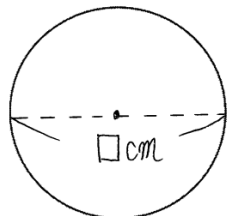


めあて

↓うすい文字を ていねいに なぞりましょう。↓

変わる数が2つあるとき、1つにまとめて表す方法を調べよう。

課題③ 直径の長さが□cmの場合について考えよう。

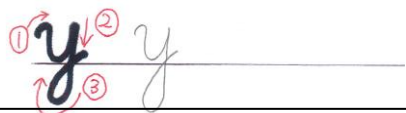


□cmのとき 式  $\square \times 3.14 =$  ( ) (cm)

エックス  $x$  cmのとき 式  $x \times 3.14 =$   $y$  (cm)

まとめ

変わる数が2つあるときは、 $x$  や  $y$  などの文字を使うと、数量の関係を1つにまとめて表すことができる。



課題④  $x \times 3.14 = y$  の式で、 $x$  が10, 15, 20のときの  $y$  の表す数を求めよう

※教科書 P28 の用語の説明を写して書きましょう

	$x$	$\times$	$3.14$	$=$	$y$
$x$ が10のとき	10	$\times$	3.14	$=$	31.4
$x$ が15のとき		$\times$		$=$	
$x$ が20のとき		$\times$		$=$	

$x$  にあてはめた数 10 を \_\_\_\_\_ といいます。  
 そのときの  $y$  の表す数 31.4 を、  
 \_\_\_\_\_  
 といいます。

<振り返り>

【答え】  
 $x$  が15のとき  $15 \times 3.14 = 47.1$   
 $x$  が20のとき  $20 \times 3.14 = 62.8$

**めあて** ↓うすい文字を ていねいに なぞりましょう。↓

文字にいろいろな数をあてはめたり、値を求めたりしよう。

**課題①**  $x \times 3.14 = y$  の式があります。

ア  $x$  の値が 2.5 のとき、対応する  $y$  の値を求めよう。

式 \_\_\_\_\_ 答え \_\_\_\_\_

イ  $x$  の値が 0 のとき、対応する  $y$  の値を求めよう。

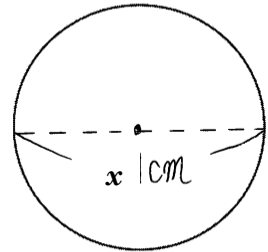
式 \_\_\_\_\_ 答え \_\_\_\_\_

ウ  $y$  の値が 47.1 になるときの、 $x$  の値を求めよう。

式 \_\_\_\_\_ 答え \_\_\_\_\_

エ  $y$  の値が 78.5 になるときの、 $x$  の値を求めよう。

式 \_\_\_\_\_ 答え \_\_\_\_\_



円周  $y$  cm

【答え】

ア  $2.5 \times 3.14 = 7.85$   
イ  $0 \times 3.14 = 0$   
ウ  $x \times 3.14 = 47.1$   
エ  $x \times 3.14 = 78.5$

**課題②** 縦が  $x$  cm、横が 6cm の長方形があります。面積は  $y$   $\text{cm}^2$  です。

ア  $x$  と  $y$  の関係を式で表そう。

式 \_\_\_\_\_

イ  $x$  の値が 1 のとき、対応する  $y$  の値を求めよう。

式 \_\_\_\_\_ 答え \_\_\_\_\_

ウ  $x$  の値が 2.5 のとき、対応する  $y$  の値を求めよう。

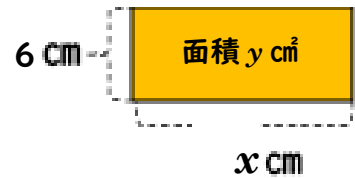
式 \_\_\_\_\_ 答え \_\_\_\_\_

エ  $y$  の値が 24 になるときの、 $x$  の値を求めよう。

式 \_\_\_\_\_ 答え \_\_\_\_\_

オ  $y$  の値が 33 になるときの、 $x$  の値を求めよう。

式 \_\_\_\_\_ 答え \_\_\_\_\_



【答え】

ア  $6 \times x = y$   
イ  $6 \times 1 = 6$   
ウ  $6 \times 2.5 = 15$   
エ  $6 \times x = 24$   
オ  $6 \times x = 33$

<振り返り>

課題① 次の4つの式はどんな意味を表しているのか考えよう。

(1) $20 + x = y$	➡	20に $x$ をたす と $y$ になる。
(2) $20 - x = y$	➡	20 と $y$ になる。
(3) $20 \times x = y$	➡	20 と $y$ になる。
(4) $20 \div x = y$	➡	20 と $y$ になる。

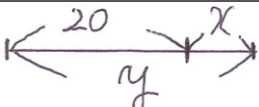
【答え】  
 (1) 20に  $x$  をたすと  $y$  になる。  
 (2) 20から  $x$  をひくと  $y$  になる。  
 (3) 20に  $x$  をかけると  $y$  になる。  
 (4) 20を  $x$  で割ると  $y$  になる。

めあて ↓うすい文字を ていねいに なぞりましょう。↓

式に合う場面を、文章で表そう。

教科書 P29を開きましょう。

課題② こうたさんは、(1)の式に合う場面を下のように考えました。こうたさんの場面を参考にして、自分でも式に合う場面を考えてみよう。

式	場面
(1) $20 + x = y$  こんな図が使えるといいね！	【こうた】 20円のあめと $x$ 円のジュースを買います。代金は $y$ 円です。 【自分】

課題③ (2)～(4)の式に合う場面を考えたのはだれですか。また、自分でも式に合う場面を考えてみましょう。

(2) $20 - x = y$	➡	【                      】 【自分】
------------------	---	----------------------------------

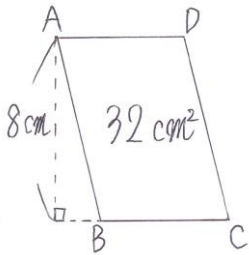
(3) $20 \times x = y$	➡	【                      】 【自分】
-----------------------	---	----------------------------------

(4) $20 \div x = y$	➡	【                      】 【自分】
---------------------	---	----------------------------------

<振り返り>

【答え】 (2) あま (3) かけ (4) け

課題① 教科書 P30 4の問題について考えよう



すでに分かっていること(数量)は…

分からない数量は…

( ) × ( ) = 平行四辺形の面積



【答え】 分かっている数量は、高さ×面積 分からない数量は、底辺の長さ  
底辺×高さ=平行四辺形の面積

めあて ↓うすい文字を ていねいに なぞりましょう。↓

わからない数量があるとき、文字を使って関係を式に表そう。

課題② 底辺の長さを  $x$  cmとして、数量の関係をかけ算の式に表そう。

底辺 × 高さ = 平行四辺形の面積

$\underline{\hspace{2cm}} \times \underline{\hspace{2cm}} = \underline{\hspace{2cm}}$

$x \times 8 = 32$   
【答え】

課題③  $x$  にあてはまる数を求めよう。

$x \times \underline{\hspace{2cm}} = \underline{\hspace{2cm}}$

$x = \underline{\hspace{2cm}}$

$\underline{\hspace{2cm}} = \underline{\hspace{2cm}}$

$x \times 8 = 32$   
 $x = 32 \div 8$   
 $x = 4$   
【答え】

まとめ わからない数量を、 $x$ などの文字を使って表せば、数量の関係を式に表すことができる。  
文章のとおり数量の関係を式に表せる。

<振り返り>

<単元の振り返り>

「数量やその関係を式に表そう」の単元の学習を振り返り、新しい学びをまとめてみよう。  
分からない数量を文字を  $x$  などの文字で表すことの良さとは何だろう？

このプリントが終わったら教科書 P32・33や、「ほじゅうのもんだい」もやってみましょう。